

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスばぶりか		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24家族	(回答者数) 17家族
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個人に合わせた活動提供	<ul style="list-style-type: none"> ・sst活動を導入し、個々の社会性を身に着ける活動を提供。 ・発達レベルや相性を考慮して、グループ編成を行い達成感を味わう活動提供を行っている。 ・異年齢児や、他校の児童との関わりを増やし、コミュニケーションの幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでは取り組めたが、より手厚くマンツーマンでの個別活動も、今後取り入れ、機会を増やしていく。
2	○他事業所の子どもたちとの関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇や活動の時間を利用し、法人内で交流の場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も連携を取り、交流の場を定着できるようにしていく。
3	○保護者及び関係機関連携。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談、悩み事に対し強調し共感する。保護者、他事業所、学校等と連携を取り、児童が安心して利用できるよう共通理解を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者のニーズに応えられるよう関係機関連携を密に行っていく。また、保護者の不安や悩みには迅速に対応し、安心していただくよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が求められるが、現段階では確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援者が内外部の研修を通して、専門性につながる支援を学び取り組んでいく。
2	○限られたスペースでの活動提供	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた活動の空間を職員同士で話し合い、子どもたちがのびのび活動できるよう工夫しているが、限界がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業所の移転も視野に入れていく。
3			